

令和6年度みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会 結果概要

○日 時 令和7年1月29日(水) 10:00~12:00

○会議方法 みどり市役所大間々庁舎 大会議室

○出席者 みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会委員 13名

○議題内容

(1) みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略中期改訂版 素案について

●人口ビジョンについて事務局より説明【資料1】

- ・現在のみどり市の人口ビジョンの目標として、合計特殊出生率2.2と非常に高い数値で、現実的ではない。
- ・現在のみどり市の合計特殊出生率は1.24で減少しているものの、県内で見れば比較的高い数値で、25~29歳においては増加傾向もみられる。これは新しい小学校の建設や、給食費無償化といった施策が評価されているのではないかと考えられる。
- ・子育て世帯のニーズ調査では、経済的支援と子どもの居場所を求める声が多く挙がっており、その部分への取り組みも必要と考えている。
- ・人口ビジョンについては、今回1.8という目標を掲げている。これは国民希望出生率が1.8であることと、みどり市が今後20億円を使い、他市のモデルになるような子どものための事業を行っていくことから、少々高い目標とはなるが、設定に至った。
- ・目標達成のために、子どもを増やすような直接的施策と同時に、転入者の増加や転出の抑制を並行して行うことにより、人口減少のスピードを鈍化させていきたい。

【委員意見】

○出産に繋げるためには、まずは結婚してもらうことが必要だと思う。結婚したい人の後押しとなるような施策について何か考えはあるのか。

⇒婚姻数については減少が続けている。結婚観については人それぞれの部分もあるが、結婚したいのに出来ないという方を後押しするための取組みとして、出会いの場の創出や、経済的な支援、学生都市部の大学からリターンやIターンで戻って来やすい環境整備などの取組みを検討している。

○転出について、転出先を決める際、職場や通学先にアクセスのよい場所を選ぶ傾向があるとのことだが、実際に統計を取っているのか。

⇒市独自にアンケートを取っており、一番多いのが通勤通学に便利だからという理由であるため、アクセスの良さにに加えて、働く場の創出や、子育てしやすいという魅力を作ってアピールすることで、転出抑制、転入促進に繋がりたい。

○転入増に繋げ、その後結婚や出産という流れだと思うが、人口減少が進めば進むほど、より住みやすく便利な方に人は流れていくと思う。目標を高く、明るい未来を目指す観点も大切だと思うが、確実に進む人口減少を見据えた視点でのまちづくりが必要ではないか。

⇒人口減少を想定したまちづくりとして、まちのまとまりを作り、そこを交通などで繋ぐ「コンパクトなまちづくり」の計画を策定している。また、人手不足の問題が深刻化する中で、サービスをどう維持していくかについても考えていかなければならないと思う。人口減についての視点をしっかり抑えた上で、他市のモデルになるような魅力ある子育て施策を実施していきたい。

○2人目以降を産む場合に、やはり経済的不安が大きいと思うが、ビジョンや戦略の中で2人目や3人目を産んでくれるような工夫はあるのか。

⇒やはり経済的支援は重要と考えている。また、働く女性が増えているので、経済的支援だけでなく、子育て自体の負担や不安を減らすという観点で、例えば子どもの居場所づくりや、相談できるような環境づくりについても行っていきたい。

○若い人の転入を促進できるような魅力ある産業団地の造成と、教育的レベルが上がるような市独自の施策といった考え方を盛り込んでどうか。

⇒産業団地、企業誘致は今後本格化していくので、戦略にも働く場の確保という視点を入れていく。また、イングリッシュサマーキャンプ（通常の授業とは別の体験型の英語教育プログラム）など、現在行っている特色ある教育にさらに力を入れるとともに、見せ方も工夫をしていきたい。

●総合戦略について事務局から説明【資料 2-1、2-2、総合戦略素案】

- ・現状とニーズから、経済支援を強化することと併せ、働く場、子どもの居場所、教育環境の整備と、SDGs 未来都市としての今後の考え方を位置付け、基本目標と強化目標を改訂した。（今回は中期の改訂版ということで、目標の構成は変更なし）

- ・資料 2-2 では大きく変更した部分についてまとめている。各目標の改訂ポイントは以下の通り。（詳細は素案を参照のこと）

→1 教育：特色ある教育・教育環境の充実により、子育て世帯の増加、進学・就職後の U、I ターンに繋げる

→2 教育：結婚や出産の希望を叶え、出生数の増加や子育て世帯の定住・転入を増加

→3 はたらく場：事業拡大に向けた積極的な支援で、地域の雇用創出、活性化と産業振興を図るとともに、企業誘致を推進する。

→4 移住定住：交流人口の増加と PR により市への移住希望者の増加に繋げ、積極的な支援により定住に繋げる

→5 観光：市内各地の地域資源を活用し、効果的な情報発信と観光客誘致に取り組み、交流人口や関係人口の創出を図る

→A 協働交流：官民協働や、他自治体等との連携や交流を推進し、良好な行政サービス

と地域の活力を維持し、個人や企業からのふるさと納税を活用する。

→B 全員活躍：女性や障がい者、高齢者など誰もが地域で活躍できるまちを目指す。

→C 持続可能なまち：デジタルの利活用により行政改革の推進と、地域問題解決に繋げるとともに、住みやすい環境整備のため、SDGs の観点で、ソフト・ハード両面により持続可能なまちづくりに取り組む。

【委員意見】

○不登校の問題や、学び方が多様化する中で、今の学校という形態が社会に合っていないようにも感じる。環境整備も必要だが、もっと特色を出すなど、教育の中身が大事なのではないかと。

⇒義務教育という枠があるので、限りある枠外の部分でいかに特色ある教育というのを見せていけるか、教育委員会の方でも取組を進めている。空調整備などのハード面だけでなく、来年度からは不登校の子への支援や、学校外での子どもの居場所を作るといったソフト面の対策も並行して行っていく予定である。

○不登校の問題に関係して、先生方が非常に多忙で余裕がなく、きめ細かいケアが行き届いていないことも要因の一つと考えられる。給与面等、人員確保の取組だけでなく、教員の質を上げるための取組がいい教育に繋がっていくのではないかと期待する。

○子育て施策に力を入れることは人口減少を食い止めるためにも必要だと思うが、子どもが成長した後、みどり市にどうしたら戻ってくるか、またみどり市で暮らしたいと思ってもらえる「魅力あるまち」を作っていく視点が必要だと考える。

⇒若者が戻ってこない状況は大きな課題として認識している。その一つの要因として、市への愛着や、地域の関わりなどが、失われつつあるのではないかと考えている。郷土文化の教育や、子どもと地域の交流に市全体として取組んでいきたい。

○デジタルの活用について、AI は導入コストが少なく済む面があるので、DX と並行して AI の活用についても考え方として盛り込んでどうか。

⇒現在利用を進めているところ。内容に反映したい。

(2) その他

- ・改訂版の戦略については、会議の意見を反映した上で、2月の議会に報告する。
- ・その後パブリックコメントを実施し、市民からの意見をいただき、3月下旬に改訂版の策定が完了となる。
- ・今年度の検証委員会については今回が最終。改訂後、委員の皆様には改訂後の総合戦略を配付させていただく予定。
- ・今日の意見のほかに何かあれば事務局までご連絡いただきたい。

以上